

幡多地域アクションプランの進捗状況等について

幡 多 地 域 本 部

令和3年9月16日（木）

幡多地域アクションプランの進捗状況等

R3. 9. 16

幡多地域本部

1 地域アクションプランの令和3年度上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

幡多地域のアクションプランに関しては、今年度、新たに2つの取組を加え計「44項目」の事業について、関係機関による協議や進捗管理を行うとともに、各種支援制度等を活用しながらそれぞれの目標達成に向け取り組みを進めている。

しかしながら、昨年から続く全国的な新型コロナウイルスの影響から、幡多地域においても観光分野をはじめとした幅広い業種が大きな打撃を受けており、感染拡大の状況を注視しつつ、事業の継続や新たな展開を支援する経済対策等を活用し、地域経済の再生に向け取り組んでいるところである。

農業分野では、「ユズ」「直七」「ぶしゅかん」等の柑橘類の作付面積の拡大とブランド化、青果や加工品の販売拡大を目指し、官民協働の取り組みを進めており、宿毛市では、文旦、直七に加えイチゴのブランド化や新たな加工製品の開発、観光誘客などを目指す地域産業クラスターの形成を図っている。

また、畜産関係では、西土佐地域の事業者で構成する「西土佐地域産業振興推進協議会」が主体となり、「四万十牛」の加工販売施設のオープンに合わせ、新たな加工品の開発や食事メニューの提供を行うなど入込客数の増加、産業振興の取組を進めている。

林業分野では、大月町の土佐備長炭の生産・販路拡大の取組において課題となっている原木の確保に向け、町や生産組合等の関係機関が連携し、苗木の植樹をはじめ長期的な視点に立った資源の造成を実施し、新たな生産者候補に対する技術研修にも取り組んでいる。

水産業分野では、「かつおの薫焼きたたき」をはじめ、「メジカ」「ブリ」「タイ」「キビナゴ」等の加工品を中心に、外商活動による販路拡大に取り組んでいるほか、土佐清水市の「メジカ」や宿毛市、大月町の「養殖マグロ・ブリ・タイ」といった、地域の資源を活かした地域産業クラスターの形成を目指す取り組みを進めている。

土佐清水市の「メジカ」に関しては、産業振興推進総合支援事業費補助金を活用し、宗田節を原材料とする新商品「スープブロス」の製造ラインが完成したことから、全国的な販路開拓に向けた本格的な取り組みを、今秋から開始することとしている。

商工業分野では、令和2年4月、四万十市の天神橋商店街に「Shimanto+Terrace はれのぼ」がオープンした。

コロナ禍にも関わらず、中心商店街の通行人数が前年と比較して増加するなどシャワー効果が現れつつあり、今後は、ポータルサイトの作成や広報誌の発行などを通じて、商店街全体の活性化に向けた取り組みを進める。

観光分野では、予約客のキャンセルや各種イベント等の中止が相次いでいる状況ではあるが、昨年7月にオープンした新足摺海洋館「SATOUMI」では、約1年で入館者数が23万人を突破するとと

もに、自然・体験型観光の拠点となる大月町柏島や四万十川、各キャンプ場などの入込客数にも回復の兆しが見えてきている。

引き続き、周辺施設等も含めた滞在時間の延長や複数の観光資源をリンクさせた観光プランの造成、磨き上げなどに取り組んでいく。

最後に、今般のコロナ禍においては、非対面・非接触の活動・取組が普及し、オンラインによる商談会が本格化するなど、販路拡大・外商活動をはじめとした社会・経済活動が大きく変化することとなった。

今後の地域アクションプランの推進にあたっては、従来の取組に加え、ウィズコロナ・アフターコロナにおける社会構造の変化に的確に対応しながら、地域経済の再生・活性化を目指し官民協働で進めていく。

(2) 具体的な動き

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等の推進(宿毛市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)成田果樹園 	<p>[指標]</p> <p>売上高 ※8~7月</p> <p>出発点(H30): 5,420万円</p> <p>到達目標(R3): 6,500万円</p> <p>目標(R5): 7,500万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R3.6月末): 1,485万円(対前年同期比114.6%)</p> <p>○既存商品の販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減農薬栽培への継続的な取り組み ・宿毛市ふるさと納税返礼品への出品 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上アップに向けた新たな市場開拓 ⇒新商品開発、体験メニューづくり ⇒既存商品(柑橘・加工品)のPR促進
<p>■No.2 土佐極鶏あしずりキングの生産加工・流通・販売の推進(土佐清水市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・(株)足摺農園 ・土佐清水市 	<p>[指標]</p> <p>(1)あしずりキング生産羽数</p> <p>出発点(H30): 1,950羽</p> <p>直近値(R2): 2,485羽</p> <p>到達目標(R3): 5,040羽</p> <p>目標(R5): 7,438羽</p> <p>(2)あしずりキング加工出荷額</p> <p>出発点(H30): 519万円</p> <p>直近値(R2): 1,361万円</p> <p>到達目標(R2): 2,286万円</p> <p>目標(R5): 3,375万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1)あしずりキング生産羽数(R3.6月末):</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p style="text-align: right;">602羽 (対前年同期比 100.3%)</p> <p>(2) あしずりキング加工出荷額 (R3.6月末) : 336万円 (対前年同期比 94.9%)</p> <p>○流通・販売の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売先(関西の卸事業者)への出荷が週44羽(2月～)を継続 <p>○生産(肥育)体制の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西部家畜保健衛生所の指導の下、肥育に関する記録を蓄積したため、肥育マニュアルを作成 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工処理体制の強化 ⇒加工処理施設の円滑な運営 ・衛生管理体制の強化 ⇒県版 HACCP 新第2ステージ認証取得 ・販路の確保 ⇒販売先等と連携した営業活動、商談会への出席 ・ブランド化の推進 ⇒ブランド化協議会を通じて市内で提供する飲食店の増加を呼びかけるなど、地域ブランド鶏としての確立を目指す
<p>■No.3 四万十ぶしゅかんの産地形成とブランド化(四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・四万十ぶしゅかん生産者組合 ◎・四万十ぶしゅかん(株) ・四万十市 	<p>[指標]</p> <p>(1)栽培面積</p> <p>出発点(H30):1,106a 直近値(R2):1,727a 到達目標(R3):1,970a 目標(R5):2,506a</p> <p>(2)生産量</p> <p>出発点(H30):32,592kg 直近値(R2):29,074kg 到達目標(R3):30,000kg 目標(R5):61,154kg</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1)栽培面積(R3.6月末):—(※年度末に集計)</p> <p>(2)生産量(R3.6月末):—(※収穫は8月から)</p> <p style="text-align: center;">※栽培面積の増及び苗木が成木となったことによる収量増</p> <p>○産地化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市苗木補助メニュー及び産地化推進人員補助メニュー(ぶしゅかん産地化推進事業:地方創生交付金)の活用(4月～) <p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会1件 <p>○各種媒体でのPR活動</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・マスコットキャラ、メディアの活用(継続実施) ・HP 改修 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青玉出荷の拡大 ⇒生産者の栽培技術の向上や知識習得に向けた研修会、講習会の実施 ・100年ぶしゅかんブランドの確立 ⇒生産者組合の連携体制の強化 ⇒出荷基準の徹底 ・ぶしゅかんの認知度の向上 ⇒地元の飲食店等での活用促進 ・県版 HACCP 新第2ステージの認証取得 ⇒支援制度の活用による HACCP 対応機器等の整備を検討
<p>■No.4 三原村ユズ産地化計画の推進 (三原村)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(公財)三原村農業公社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA 高知県(幡多地区) ・三原村 	<p>[指標]</p> <p>青果出荷量(公社)</p> <p>出発点(R元): 34.4 t</p> <p>直近値(R2): 40.5 t</p> <p>到達目標(R3): 50.0 t</p> <p>目標(R5): 61 t</p> <p>[取組状況]</p> <p>青果出荷量(公社)(R3.6月末): - (収穫は9月から)</p> <p>○生産量の増加とそれに伴う出荷体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との協議(5/25、6/11、6/18) 公社の経営改善対策及び収穫期の労働力確保対策について協議 ・公社園地巡回(4~6月): 3回 ・公社作業員の作業効率化: 夏期高温期の早出労働の提案 <p>○担い手の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との協議(5/25、6/11、6/25) 新規就農者確保に向けた園地リースシステム、産地提案書の見直しや募集方法について協議 <p>○青果率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班長会(6/18) 収量の向上に向けた樹形導入について協議 ・公社職員への栽培管理指導(4/19、6/9) <p>○公社作業員の作業効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月と11月のフレックスタイム等の導入 <p>○収量増に向けた樹形改善の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2本主枝から3本主枝への変更

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ共同選果施設の効率的運用 ⇒箱詰で取引される冬至出荷と個別の小袋出荷の出荷時期、出荷量の調整による効率的な施設運用 ⇒出荷期分散のための越年出荷の推進 ・収穫期の労力確保 ⇒村内の女性・高齢者等の労力活用方策の検討 ・園地の効率的管理 ⇒スマート農業機器（園地管理ソフトとリモコン式草刈機）の効率的利用 ・青果率の向上 ⇒カラーリング施設増（1基）に伴う、カラーリング出荷の推進 ・担い手の確保 ⇒リース園の確保と Web での PR 活動等による研修生の確保
<p>■No.5 大月町内の持続可能な山林資源を活用した製炭業の推進（大月町）</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大月町備長炭生産組合 	<p>[指標]</p> <p>生産量</p> <p>出発点（H30）：112t</p> <p>直近値（R2）：91.4t</p> <p>到達目標（R3）：120t</p> <p>目標（R5）：120t</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>生産量（R3.6月末）：21.0t（対前年同期比75.3%）</p> <p>※4～8月まで2基の炭窯を修理していたため</p> <p>○生産力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産組合の定例総会の開催（事業計画等の協議）（5/14） ・新たな生産者候補の技術研修の実施 （新規就業者支援事業：R2.7～） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木（ウバメガシ）の安定的な確保 ⇒山林の確保に向けた県、町、組合三者間連絡会議の継続 ⇒長期的な視野に立った資源の造成に向けた搬出作業道の整備、原木林の造成検討、択伐方式の技術の習得 ・製炭事業や山林資源の活用についての地域への周知 ⇒植樹祭での啓発活動 ・生産の安定化と増産、品質の確保、販路拡大 ⇒生産性の向上を目指した意識付け、知識・技術の習得 ⇒新型コロナウイルスの影響で減少している直売先の新たな確保

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.6 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト(宿毛市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・宿毛市</p> <p>◎・(一社)スタートアグリカルチャーすくも</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA 高知県(幡多地区) ・(一社)宿毛市観光協会 ・他関連事業者 	<p>[指標]</p> <p>(1)イチゴ生産量</p> <p>出発点(H30):48t</p> <p>直近値(R2):52t</p> <p>到達目標(R3):57t</p> <p>目標(R5):63t</p> <p>(2)イチゴ生産者戸数</p> <p>出発点(H30):9戸</p> <p>直近値(R2):10戸</p> <p>到達目標(R3):13戸</p> <p>目標(R5):15戸</p> <p>(3)文旦栽培面積</p> <p>出発点(H30):90ha</p> <p>直近値(R2):90ha</p> <p>到達目標(R3):96ha</p> <p>目標(R5):96ha</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1)イチゴ生産量(R3.6月末):-(※収穫は12月～)</p> <p>(2)イチゴ生産者戸数(R3.6月末):10戸 (対前年同期比111.1%)</p> <p>(3)文旦栽培面積(R3.6月末):90ha(対前年同期比100.0%)</p> <p>○生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独立用ハウス及び研修生の確保に向けた継続的な取り組み ・「新・農業人フェア 農業EXPO」にオンライン参加 (6/27、東京国際フォーラム) <p>○商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2軒のイチゴ生産者が観光農園を企画したが、新型コロナウイルスの影響により中止(5月～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の強化 ⇒イチゴ農業研修生の確保及び研修、研修生などの用地(ハウス)の確保支援 ・加工品の開発・販売の強化 ⇒農家及び市内事業者との製造方法等検討、商談会等への参加
<p>■No.7 すくも湾漁協による水産物の加工・販売(宿毛市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すくも湾漁業協同組合 	<p>[指標]</p> <p>売上高 ※1～12月</p> <p>出発点(H30):3,399万円</p> <p>直近値(R2):3,223万円</p> <p>到達目標(R3):3,400万円</p> <p>目標(R5):5,000万円</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)</p>	<p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R3.6月末):1,254万円(前年比:78.8%)</p> <p>※漁船漁業の漁獲量減少や、新型コロナウイルスの影響による魚価の低迷及び商品発注量の減少のため</p> <p>○宿毛湾産の水産物を活用した商品開発及び販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養殖魚の加工品販売に注力することで売上高の減少をカバーしている <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による売上の低下及び商品の生産量の減少 <p>⇒感染状況を見据えながら、顧客のニーズに対応した加工品開発を行い、売上向上を目指す</p>
<p>■No.8 宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売(宿毛市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)勇進 <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点(H30):1.7億円</p> <p>直近値(R2):3.91億円</p> <p>到達目標(R3):4億円</p> <p>目標(R5):5億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R3.6月末):5,360万円(対前年同期比90.1%)</p> <p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外大手スーパーマーケット、県外外食関係事業者などへの販促活動の継続実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上アップに向けた新たな取引先の獲得 <p>⇒商談会や催事等への積極的な参加</p> <p>⇒県外での営業活動の強化</p> <p>⇒海外の新規取引予定業者との交渉の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理体制の確立 <p>⇒県版HACCP新第2ステージ認証取得に向けた社員教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の充実、強化 <p>⇒責任者の配置、人材育成の強化</p>
<p>■No.9 宿毛湾のキビナゴ加工商品等の販売拡大(大月町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・八重丸水産(株)</p> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高 ※9~8月</p> <p>出発点(R元):2,855万円</p> <p>直近値(R2):2,565万円</p> <p>到達目標(R3):3,100万円</p> <p>目標(R5):3,400万円</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>ト)</p>	<p>[取り組み状況]</p> <p>売上高 (R2.9月～R3.6月) : 1,405 万円 (対前年同期比 64.7%)</p> <p>※「きびなごケンピ」の原魚であるキビナゴの不漁のため</p> <p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きびなごケンピの製造、取引先への継続的な出荷 ・きびなごローストや本マグロホルモンカレーなど、新商品の販売促進 ・展示商談会：フードランド 2021(高知) [7/7-8] <p>○地域の水産資源を活用した新商品の開発及び衛生管理強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養殖魚を活用した商品の開発やふるさと納税返礼品の造成 ・冷蔵設備や魚類等の処理場等が稼働開始 (4月) (新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金を活用) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増益に向けた、既存商品の改良及び販路拡大 ⇒既存商品のバリエーション化に合わせた原価率の改善、高利益率商品の販路拡大 ・食品衛生管理の向上 ⇒県版 HACCP 新第2ステージへの対応 ・主力商品の原料の安定供給 ⇒代替できる原料や新商品の開発
<p>■No. 10 宿毛湾の干物等水産加工品の販売拡大 (大月町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・土佐大月海産</p> <p>※地域産業クラスター関連 (宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高 ※1～12月</p> <p>出発点 (H30) : 2,602 万円</p> <p>直近値 (R2) : 2,822 万円</p> <p>到達目標 (R3) : 3,100 万円</p> <p>目標 (R5) : 3,300 万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高 (R3.1～6月) : 1,202 万円 (対前年同期比 86.8%)</p> <p>○販促営業、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ、インターネットを通じた継続的な販売 ・客船業界への納品継続 (船内昼食メニュー) ・通年用リーフレットの配布 (ふるさと納税返礼品に同封) ・お中元商品の DM 発送、宣伝・販売 <p>○既存商品の磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品ラインナップの充実 (塩麴漬) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益率が高い個人顧客の獲得 (新規・リピーター) ⇒ふるさと納税を活用した販売促進

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 12 宿毛市特産直七の生産・加工・販売の促進(宿毛市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・直七生産(株)</p> <p>・直七の里(株)</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点(H30): 2,900万円</p> <p>直近値(R2): 2,967万円</p> <p>到達目標(R3): 5,000万円</p> <p>目標(R5): 9,400万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R3.6月末): 391万円(対前年同期比164.0%)</p> <p>※コンビニ向けドレッシングの原料の大口取引が開始</p> <p>○生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり補助金を活用した搾汁機械の改修(R2) <p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外大手スーパーマーケット、県外外食関係事業者などへの販促活動を継続 ・飲食店事業者による直七の卸売事業を継続 ・大手飲料メーカーから直七果汁を使用したチューハイを継続販売 ・県内食品メーカーから直七果汁を使用したポン酢を販売 ・大手調味料メーカーから直七果汁を使用したポン酢を近畿、四国エリア限定で販売予定 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原料(直七)供給の安定化 ⇒生産者の栽培技術の向上 ・新たな取引先の獲得 ⇒商談会や催事等への積極的な参加 ⇒青玉出荷の検討および体制の確立
<p>■No. 13 幡多地域における昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等の推進(宿毛市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)菱田ベーカリー 	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点(H30): 4,567万円</p> <p>直近値(R2): 3,849万円</p> <p>到達目標(R3): 6,000万円</p> <p>目標(R5): 9,000万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R3.6月末): 1,105万円(対前年同期比118.8%)</p> <p>○商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザー(課題解決型)を活用した商品開発(6月~8月)3回 <p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フードランド2021」への出展(7/7~8、高知ちばさんセンター)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本アクセス西日本秋季フードコンベンション 2121」への出展 (7/20～21、インテックス大阪) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和レトロをコンセプトとした商品開発および販路開拓 ⇒県内外の展示会、商談会への出展や営業活動による外商の取り組みの強化、テストマーケティングの実施 ・衛生管理体制の充実 ⇒従業員確保、県版 HACCP 新第2ステージの認証取得及び衛生管理の定着に向けた従業員教育の実施
<p>■No. 14 土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進 (土佐清水市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・土佐清水食品(株)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水鰹節水産加工協同組合 ・宗田節をもっと知ってもらいたい委員会 ・土佐清水市 <p>※地域産業クラスター関連 (土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>土佐清水食品(株)の売上高</p> <p>出発点 (H30) : 18.5 億円</p> <p>直近値 (R2) : 18.9 億円</p> <p>到達目標 (R3) : 22.6 億円</p> <p>目標 (R5) : 23.6 億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>土佐清水食品(株)の売上高 (R3.4月末) : 1.6 億円 (対前年同期比 101.4%)</p> <p>○保管・加工施設の整備及び運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残渣処理施設操業開始 (R3年1月) ・共同加工施設整備 (R2年9月～R3年10月) <p>○スープブロスを核とした、製造・販売体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スープブロス製造ラインの施設整備 (R2年4月～R3年8月) (産業振興推進総合支援事業費補助金(一般事業(特別分))) ・エアシャワー等の導入による衛生管理の強化 (R3年1月～R3年6月) (新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金) <p>○メジカ・宗田節の全国的なPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大丸須磨店高知県フェアでの宗田節PR (7/23) ・宗田節祭り開催予定 (12/4) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料となる原魚の確保 ⇒冷凍保管施設の利用促進による原魚在庫の安定化 ・新商品「スープブロス」の市場流通 ⇒本格的な製造ラインの運用と全国販売の開始 ・市民による宗田節の日常利用の促進 ⇒市民向けプロモーションの展開 (料理教室など) ・衛生管理の維持・向上 ⇒衛生管理研修会等への参加

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	⇒製造ライン整備による衛生管理の強化 ・商品力の強化と販路拡大に向けた取り組みの強化 ⇒市場ニーズに対応した商品づくりの継続的な展開
<p>■No. 15 宗田節だし加工商品の販路拡大の促進（土佐清水市）</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ウェルカムジョン万カンパニー <p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高 ※1～12月</p> <p>出発点（H30）：8,516万円</p> <p>直近値（R2）：7,713万円</p> <p>到達目標（R3）：6,300万円</p> <p>目標（R5）：1億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高（R3.1～3月）：1,174万円（対前年同期比69.7%）</p> <p>※新型コロナウイルスの感染拡大の影響</p> <p>○生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗田節粉末機、紫外線殺菌灯、ガス充てん式シーラーの導入（R3年1月～R3年3月） （新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金） <p>○商品開発・改良</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存商品の改良・パッケージの見直し <p>○県外での販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品PR動画を作成し、ネット販売や店頭販売に活用 （新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金） ・HPをスマートフォンで閲覧しやすいよう改良 ・県外商談会へ参加予定（11月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな販路の開拓 ⇒県外での商談会や催事等への参加 ⇒既存商品の磨き上げ ・衛生管理の維持・向上 ⇒衛生管理研修会等の情報提供
<p>■No. 16 幡多地域産品を活用した加工商品の開発販売と流通システムの構築（土佐清水市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(株)郷土活性化組合（土佐清水活性化組合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水外商流通組合 ・土佐清水市 	<p>[指標]</p> <p>出荷事業者数</p> <p>出発点（R元）：33事業者</p> <p>直近値（R2）：29事業者</p> <p>到達目標（R3）：41事業者</p> <p>目標（R5）：50事業者</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>出荷事業者数（R3.6月末）：29事業者 （対前年同期比87.9%）</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト、宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト）</p>	<p>○流通システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市内の拠点（郷土活性化組合）での集荷、混載による輸送の効率化 <p>○地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水ワールド全9店舗は、緊急事態宣言及び行政からの要請により、休業若しくは時短営業（7/12） →休業：東京3店舗、大阪1店舗 時短営業：大阪1店舗、兵庫4店舗 ・土佐清水薫焼きワールド 地域のイベントにあわせた鯉のたたきのふるまい（7/3） ・大丸須磨店高知県フェアでの宗田節PR（7/23） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流通システムの構築 ⇒生産者や加工事業者が事業に参加しやすい仕組みづくり ⇒活魚輸送の効率化、輸送コストの削減等に向けた輸送方法の検討 ・地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進 ⇒生産者や加工事業者との連携の仕組みづくり ⇒お客様のニーズ、新しい生活様式に合った新商品、販売方法の検討
<p>■No17 宗田節の一般向け削り加工商品の販売促進と体験観光の強化（土佐清水市）</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)たけまさ商店 <p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<p>[指標]</p> <p>(1)売上高 ※8～7月</p> <p>出発点 (R元)：7,400万円</p> <p>直近値 (R2)：5,889万円</p> <p>到達目標 (R3)：8,394万円</p> <p>目標 (R5)：9,600万円</p> <p>(2)体験者数</p> <p>出発点 (R元)：200名</p> <p>直近値 (R2)：96名</p> <p>到達目標 (R3)：500名</p> <p>目標 (R5)：700名</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1)売上高 (R2.8～3月)：3,668万円（対前年同期比79.2%）</p> <p>※新型コロナウイルスの感染拡大の影響及び原魚不足</p> <p>(2)体験者数 (R2.8～6月)：151人（対前年同期比165.9%）</p> <p>※宗田節加工販売・体験観光施設のオープン (R3.3月)</p> <p>○生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗田節加工施設の整備 (R3.3月) (産業振興推進総合支援事業費補助金（一般事業）) ・県版HACCP新第2ステージ認証取得へ向けた取り組み

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>→専門機関等から指導を受け、R3 年度内に取得予定</p> <p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護食宅配メニューに採用(6月) →月 120kg 削り節を出荷 <p>○節納屋体験観光の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験観光施設のオープン (3/28) ・飲食店の営業許可を取得し、土日限定で軽食を提供を開始 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制、衛生管理体制の確立 ⇒宗田節加工販売・体験観光施設の円滑な整備、運営 ⇒県版 HACCP 新第 2 ステージ認証取得 ・販売拡大 ⇒インターネット販売の強化 ⇒産業振興アドバイザー(課題解決型)の活用
<p>■No18 新たな製造方式の導入による宗田節等の生産・販売の強化(土佐清水市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)ヤマア <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>(1)売上高 ※7~6月</p> <p>出発点(R元):1.9億円</p> <p>到達目標(R3):1.9億円</p> <p>目標(R5):2.5億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高:1.55億円(R3.6月見込)(対前年同期比80.7%)</p> <p>○顧客のニーズに合わせた節生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興推進総合支援事業費補助金交付決定(8月) ・県版 HACCP 新第 2 ステージ取得に向けて専門機関のオンライン指導受講 <p>○販売拡大・新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存商品のパッケージの見直し <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧客のニーズに合わせた節生産体制の強化 ⇒焼津式焙乾設備等の整備(R3.11月) (産業振興推進総合支援事業費補助金) ⇒施設整備後の県版 HACCP 新第 2 ステージ取得 ・販売拡大 ⇒丸節の販路先の確保 ⇒パッケージ見直し後の販売戦略
<p>■No. 19 西土佐産栗の地産外商の推進(四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)しまんと美野里 	<p>[指標]</p> <p>(1)売上高 ※6~5月</p> <p>出発点(H30):1,250万円</p> <p>直近値(R2):1,071万円</p> <p>到達目標(R3):1,700万円</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>目標 (R5) : 2,000 万円</p> <p>(2) 生栗の仕入量</p> <p>出発点 (H30) : 7.8t</p> <p>直近値 (R2) : 6.8 t</p> <p>到達目標 (R3) : 8.4 t</p> <p>目標 (R5) : 10.0t</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 売上高 (R2) : 1,071 万円 (対前年比 80.4%)</p> <p>(2) 生栗の仕入量(R3.6月末) : - (※収穫は9月から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Instagram を活用した情報発信 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定的な栗の仕入れ <ul style="list-style-type: none"> ⇒市、JA 高知県 (幡多地区) など関係機関との連携強化 (西土佐農商工連携検討会での定期的な協議等) ⇒モデル栗園の整備促進 ⇒栗栽培の先進地視察 ⇒集荷農家の増加に向けて、作業道整備や獣害対策網の設置 ⇒大学生や地域おこし協力隊等を活用した収穫時期における人手不足対策の検討 ・ 県版 HACCP 新第 2 ステージの認証取得 <ul style="list-style-type: none"> ⇒認証取得に向けて研修等への誘導
<p>■No. 20 四万十牛の生産・加工・販売体制の強化 (四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(株)四万十牛本舗</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西土佐中央牧場 ・ 地域事業者 	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点 (H30) : 1 億 9,000 万円</p> <p>直近値 (R2) : 1 億 8,524 万円</p> <p>到達目標 (R3) : 2 億 4,900 万円</p> <p>目標 (R5) : 2 億 6,800 万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高 : (R2) : 1 億 8,524 万円 (対前年比 95.2%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テイクアウト商品 (弁当) の販売強化 ・ 畜舎増設に向けて県、市、JA 等関係機関と協議 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県版 HACCP 新第 2 ステージの認証取得 <ul style="list-style-type: none"> ⇒新加工販売施設での認証取得に向けて研修等への誘導 ・ ブランド化に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ⇒新商品の開発や店舗の PR 及び販促活動の強化 ・ 販路拡大に向けた道の駅などでの加工品の販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒消費者ニーズに対応した継続的な商品づくり ⇒道の駅等での商品の売り方検討 (BBQ セット等) ⇒西土佐地域産業振興推進協議会での事業者連携の強化

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育頭数の拡大 ⇒畜舎増設に向けた畜産クラスターの検討
<p>■No. 21 売り出せ西土佐プロジェクト推進 (拠点ビジネス) (四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(株)西土佐ふるさと市 ・四万十市</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高 出発点 (H30) : 1 億 6,400 万円 直近値 (R2) : 1 億 4,604 万円 到達目標 (R3) : 1 億 6,900 万円 目標 (R5) : 1 億 7,300 万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高 (R3.6 月末) : 3,781 万円 (対前年同期比 138.5%) ※新型コロナウイルスの影響で前年同期の売上高が減少していたが回復傾向にある (対 R 元年同期比 : 80.8%)</p> <p>○テナント店との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議の開催 (4 回) ・5 周年祭 (4/11) <p>○県外道の駅、事業者との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外道の駅との物販交流 [道の駅許田 (沖縄県)、道の駅つるた (青森県)、道の駅しょうわ (秋田県)、道の駅あさひかわ (北海道)] ・アツいまちサミットへの参加 (5/29) ・愛媛奥伊予城川ベーコン食べくらべ街道への参加 (4/17~12/26) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上の拡大 ⇒集客アップのためのイベント企画・開催 ⇒情報誌「よりすぎタイムス」による情報発信の強化 ⇒土佐 MBA (商人塾等) 等の受講によるスタッフのスキルアップ ・地域事業者との連携強化 ⇒世界一の米なす PR&メニュー開発 (新メニューの開発支援、設備導入支援制度の情報提供) ⇒モニターツアー「半径 3km の旅」の開催 ⇒しまんとリバーベキュープロジェクトとの連携 ⇒西土佐地域産業振興推進協議会 H P での情報発信への参画
<p>■No. 22 四万十地域の素材を活用した加工商品の外商強化 (四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・しまんと百笑かんに(株) ・四万十市地域商品研究会</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高 出発点 (H30) : 4,844 万円 直近値 (R2) : 3,296 万円 到達目標 (R3) : 4,050 万円 目標 (R5) : 1 億円</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取り組み状況]</p> <p>売上高 (R3.6月末) : 1,033 万円 (対前年同期比 152.0%)</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で前年同期の売上高が減少していたが、主に通信販売により回復傾向にある (対 R 元年同期比 91.3%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自社商品の開発強化 <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市地域の素材を活用した新たな商品の開発を検討 ○販売拠点整備と販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン商談会の開催(常時) ○四万十市地域商品研究会 <ul style="list-style-type: none"> ・研究会での情報交換 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる売上減の回復 ⇒オンラインの活用、通販サイトでの販売強化 ・従業員確保 ⇒求人情報サイトへの登録 ・高付加価値路線への販路拡大 ⇒都市部の商品開発の専門家や地域のこだわり商品を扱う量販店等との協業 ⇒新たな地域素材の情報収集 ⇒四万十市地域商品研究会の活動強化
<p>■No. 23 幡多地域の農水産物を活用したペット関連商品の開発・販売拡大 (四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WAN LIFE 	<p>[指標]</p> <p>売上高 ※1~12 月</p> <p>出発点 (H30) : 2,064 万円</p> <p>直近値 (R2) : 3,522 万円</p> <p>到達目標 (R3) : 4,000 万円</p> <p>目標 (R5) : 6,000 万円</p> <p>【取り組み状況】</p> <p>売上高 (R3.1~6 月) : 1,953 万円 (対前年同期比 111.8%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品開発 <ul style="list-style-type: none"> ・猫関連商品 パッケージは完成したが、主原材料(またたび)の確保が課題 ・レトルト商品(犬用) 幡多地域の事業者と契約、同社の工場(R3.8完成)で大手食品流通会社に卸す商品として製造予定 (施設整備は、ものづくり補助金(経済産業省)を活用) ○事業効率向上策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・外部委託やデジタル化による業務効率の向上

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○販促活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手定期便販売ポータルサイトでの販売（楽天外3サイト） <p>○新事業への展開（施設整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新施設(物販、ドッグラン)の整備準備中 (R4.6 オープンを目標に事業再構築補助金（経済産業省） 又は新事業チャレンジ支援事業費補助金（高知県）の活用を検討) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上の増加 ⇒通販サイト及びふるさと納税返礼品への品揃えの強化 ・県産原材料の確保による新商品展開 ⇒猫関連商品原材料となる「またたび」の自社栽培を検討 ・従業員の確保 ⇒営業や経營業務を担える人材の確保
<p>■No. 24 四万十の地域食材を活用した商品 開発・製造・販売の促進（四万十市）</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)LLP しまんと 	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点（H30）：2,584万円</p> <p>直近値（R2）：2,331万円</p> <p>到達目標（R3）：3,000万円</p> <p>目標（R5）：3,500万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高（R3.5月末）：344万円（対前年同期比192.1%） ※新型コロナウイルスの影響で前年同期の売上高が減少していたが回復傾向にある（対R元年同期比79.2%）</p> <p>○販路開拓及び販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)四万十ドラマ関連のオンライン商談会1件(6月) <p>○商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ソイチップス」開発中 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産効率の向上 ⇒県版HACCP新第2ステージの認証取得に向けた設備導入を検討 ・売上の増加 ⇒PB・OEMの受注PRも含めた営業活動の展開 ⇒商談会等への出展の強化 ⇒通販販売の展開

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 25 幡多地域産品を活用した冷凍加工食品の開発・製造・販売の推進 (四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)和 	<p>[指標]</p> <p>売上高 ※6～5月</p> <p>出発点 (H30) : 2,288 万円</p> <p>直近値 (R2) : 1,444 万円</p> <p>到達目標 (R3) : 2,300 万円</p> <p>目標 (R5) : 3,500 万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高 (R3.6月末) : 44 万円 (対前年比 174.6%)</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で前年同期の売上高が減少していたが回復傾向にある (対 R 元年同期比 23.0%)</p> <p>○商品開発及び改良</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OEM 受注 ・四万十ぶしゅかん焼肉たれ開発中 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社 HP を開設 (4月～) ・通販 (まるごと高知 Online Shop) での販売開始 (4月～) ・新たな工場を整備する候補地や施設規模等の検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産拡大・効率化や衛生管理の環境づくり <p>⇒県版 HACCP 新第 2 ステージの認証取得</p>
<p>■No. 26 地域商業活性化拠点「はれのぼ」を核とした中心市街地の活性化 (四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・四万十市中心商店街活性化協議会 ◎・四万十にぎわい商店(株) ・四万十市 	<p>[指標]</p> <p>(1) 中心商店街エリア内の売上額</p> <p>出発点 (H30) : 8 億 3,100 万円</p> <p>直近値 (R2) : 7 億 2,500 万円</p> <p>目標 (R5) : 9 億 1,411 万円</p> <p>(2) 中心商店街エリア内の通行量</p> <p>出発点 (H26～30 平均) : 平日 5,226 人、休日 4,036 人</p> <p>直近値 (R2) : 平日 5,824 人、休日 3,244 人</p> <p>目標 (R5) : 平日 6,005 人、休日 4,647 人</p> <p>(3) 中心商店街エリア内の新規出店者数</p> <p>出発点 (H30) : 2 店舗</p> <p>直近値 (R 元～2 累計) : 11 店舗</p> <p>目標 (R 元～5 累計) : 8 店舗</p> <p>(4) 売上額 (四万十にぎわい商店 (株))</p> <p>出発点 (H30) : -</p> <p>直近値 (R2) : 1,574 万円</p> <p>到達目標 (R3) : 1,832 万円</p> <p>目標 (R5) : 1,861 万円</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 中心商店街エリア内の売上額：－（年度末に集計）</p> <p>(2) 中心商店街エリア内の通行量：－（年度末に集計）</p> <p>(3) 新規出店者数：－（年度末に集計）</p> <p>(4) 売上額（四万十にぎわい商店(株)）(R3. 4～6月)：456万円 （対前年同期比 145.1%）</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で前年同期の売上高が減少していたが回復傾向にある</p> <p>○推進組織体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十にぎわい商店(株)取締役会(月1回開催) ・チャレンジショップ事業運営会議(月1回開催) ・四万十市中心商店街活性化協議会開催(8/5) <p>○事業効果を高める仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催、持込みイベントの実施 ・拠点施設の情報発信 <p>「cafe n2」Instagram フォロワー数 1,376名(6月末時点)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街と連携した経済効果の創出 <p>⇒店舗紹介サービスのための商店街マップ作成 商店街広報誌の作成(年2回)、マルシェの実施、まちのポータルサイトの構築</p>
<p>■No. 27 道の駅「ふれあいパーク・大月」 を基盤とした産業振興と賑わいの創出 (大月町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一財)大月町ふるさと振興公社</p> <p>◎・大月町</p> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点(H30)：1億9,400万円</p> <p>直近値(R2)：2億443万円</p> <p>到達目標(R3)：2億3,600万円</p> <p>目標(R5)：2億5,000万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R3. 4～6月)：5,198万円(対前年同期比 145.7%)</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で前年同期の売上高が減少していたが回復傾向にある(対R元年同期比 97.9%)</p> <p>○地域製品の販売促進、特産品の開発・販売の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入体制の強化に向けたマニュアル化の検討 ・ギフトカタログ等での販売(夏:6～10月) ・ひがしやま製造の機械化を検討(5月～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産直市の在庫管理と情報発信 <p>⇒デジタル化の推進による在庫の可視化の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品のPR強化やふるさと納税からのリピーターの獲得 <p>⇒通販サイトの移行や機能の拡充</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> 来店者の満足度向上 ⇒スタッフへの研修及び接客マニュアルの整備
<p>■No. 28 三原村のどぶろくによる地域活性化 (三原村)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 土佐三原どぶろく(同) 	<p>[指標]</p> <p>売上高 ※6～5月</p> <p>出発点 (H30) : 1,479万円</p> <p>直近値 (R2) : 1,284万円</p> <p>到達目標 (R3) : 1,500万円</p> <p>目標 (R5) : 1,900万円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高 (R2) : 1,284万円 (対前年比 : 87.8%)</p> <p>○販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 日曜市への参加(5/12) 広報活動 さんしん GO!(4/18)、Instagram マガジン「chuu!」(5/6)、PAPERSKY「KOCHI Modern Nomad」(5/20)、Facebook の運用(通年) 中筋川ダムとの連携 ダム最下層へのどぶろく貯蔵(5/12、9月解禁予定) 四国地方整備局広報企画委員長特別賞受賞(5/12 表彰式) <p>○組織体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ作成(7月末開設) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍を踏まえた新規販路開拓 ⇒ECサイトの開設及び酒類通信販売業免許の取得 どぶろく共同加工施設の整備 ⇒先進事例の収集及び整備方針の検討
<p>■No. 29 三原産トマトを中心とした加工・販売の推進 (三原村)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> (株)ベストグロー 	<p>[指標]</p> <p>売上高 ※12～11月</p> <p>出発点 (H30) : 9,395万円</p> <p>直近値 (R2) : 1億1,372万円</p> <p>到達目標 (R3) : 9,650万円</p> <p>目標 (R5) : 1億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高 (R2.12～R3.5月) : 7,290万円 (対前年同期比 : 118.8%)</p> <p>○販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 商談会への参加 家族亭&SRS ホールディングスとのプチ商談会(7/12) 広報活動 SNS(Facebook、Twitter、Instagram)の運用(通年)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○生産・加工体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修への参加 県版 HACCP 改定セミナー(4/19)、食品表示研修(基礎コース(5/31)、一括表示作成コース(6/22)) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により落ち込んだ加工品の売上回復及び販路拡大 ⇒リモート環境を生かした商談会等への参加 ・衛生管理体制の強化 ⇒県版 HACCP 新第2ステージの認証取得
<p>■No. 30 黒潮町産天日海塩を活用したビジネスの推進(黒潮町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)ソルティープ 	<p>[指標]</p> <p>売上高 ※3~2月</p> <p>出発点(H30): 2,195万円</p> <p>直近値(R2): 2,985万円</p> <p>到達目標(R3): 2,823万円</p> <p>目標(R5): 2,823万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R3.3~4月): 434万円(対前年同期比98.1%)</p> <p>○生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正社員候補として、R3.5月からアルバイト(1名)を雇用 <p>○新商品開発(原料提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗田節燻製クリスプ(ゆず塩味) ・くろしおくんパッケージの天日塩の限定販売 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の強化 ⇒生産量を拡大するため採かん施設の改修を検討 ・販路拡大 ⇒県版 HACCP 新第2ステージ認証取得
<p>■No. 31 黒潮町産天日塩の販売拡大及び地域ブランド化の推進(黒潮町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・土佐のあまみ屋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町商工会 	<p>[指標]</p> <p>売上高 ※1~12月</p> <p>出発点(R元): 2,442万円</p> <p>直近値(R2): 2,593万円</p> <p>到達目標(R3): 2,503万円</p> <p>目標(R5): 3,743万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R3.1~4月): 649万円(対前年同期比104.0%)</p> <p>○生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに採かん施設と結晶ハウスを整備する予定(R4年度に着工、完成とする計画) <p>○販売の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインショップ開設(STORES)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・県内事業者商品（かりんとう）への原料提供 ・「とさのさと AGRICOLLETO」の「れんげいブース」に出品（7月～） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の強化 ⇒採かん施設・結晶ハウスの整備 (産業振興推進総合支援事業費補助金の活用を検討) ・販売の拡大 ⇒県版 HACCP 新第2ステージ認証取得 ・地域ブランド化の推進 ⇒町内製塩事業者との合意形成
<p>■No. 32 佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進（黒潮町）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(株)なぶら土佐佐賀</p> <p>・黒潮町</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点 (H30) : 2億1,628万円</p> <p>直近値 (R2) : 1億6,874万円</p> <p>到達目標 (R3) : 1億8,000万円</p> <p>目標 (R5) : 2億2,600万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高 (R3.6月末) : 3,705万円 (対前年同期比 173.9%)</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で前年同期の売上高が減少していたが回復傾向にある (対R元年同期比 60.1%)</p> <p>○商品開発・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間限定商品（カマスフライ定食）発売(7月～) ・新商品「ひやしうどん」発売(7月～) ・スポーツ合宿への弁当提供開始(7月～) <p>○町内関連施設等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅「ビオスおおがた」との勉強会の実施（7月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘客促進のための魅力ある店舗・商品づくり ⇒道の駅「ビオスおおがた」との定期的な勉強会の開催 ⇒観光掲示板の更新や観光案内の充実 ⇒食堂での新メニューの開発、提供 ⇒コロナ禍での販売方法の検討 ・高規格道路の延伸に伴う駐車場や施設規模の拡充等の検討
<p>■No. 33 黒潮町の地域産品を中心とした水産加工品等の販売促進（黒潮町）</p> <p>《実施主体》</p> <p>・(有)土佐佐賀産直出荷組合</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高 ※3～2月</p> <p>出発点 (H30) : 8,600万円</p> <p>直近値 (R2) : 1億1,417万円</p> <p>到達目標 (R3) : 1億1,500万円</p> <p>目標 (R5) : 1億3,031万円</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R3.3～6月)：4,681万円(対前年同期比110.0%)</p> <p>○商品開発・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品発売 かつおはらんぼ(塩・みりん)(4月～) キハダマグロ薫焼きたたき(4月～) <p>○町内事業者との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町缶詰製作所に缶詰の原料(カツオ)提供 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売の拡大 ⇒全商品県版 HACCP 新第3ステージ認証取得 ⇒既存取引先との関係強化による新商品開発、取引量の増大 ⇒下処理、加工など各部門の責任者となる人材の育成
<p>■No.34 黒潮町の地域資源を中心とした防災関連商品づくりの推進(黒潮町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(株)黒潮町缶詰製作所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町 	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点(H28～30平均)：7,600万円</p> <p>直近値(R2)：1億1,971万円</p> <p>到達目標(R3)：1億円</p> <p>目標(R5)：1億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R3.6月末)：1,631万円(対前年同期比68.4%)</p> <p>※前年同期は、コロナ禍において、いわゆる巣ごもり需要といわれる特需が見られた</p> <p>○商品開発・販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギフト商品の強化 ・原材料等の価格高騰に伴い、一部商品の価格改定(5月～) <p>○町内事業者との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センターであいの里蜷川への作業依頼 →しめじカット(R3.3～) ・(有)土佐佐賀産直出荷組合から原材料となるカツオの調達 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理、衛生管理体制の強化 ⇒持続的な社員教育の実施 [産業振興アドバイザー(課題解決型)活用の検討] ・職員の高齢化に伴う人材の確保 ⇒求人サイト等への登録の継続 ・地域資源を活用したアレルゲンフリーの商品開発 ⇒新商品の開発を継続して実施

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 35 幡多広域における滞在型・体験型観光の推進 (幡多地域全域)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社) 幡多広域観光協議会 	<p>[指標]</p> <p>(1) 延べ宿泊者数</p> <ul style="list-style-type: none"> 出発点 (H30) : 398,797 人 直近値 (R2) : 319,790 人 到達目標 (R3) : 425,000 人 目標 (R5) : 443,000 人 <p>(2) 外国人延べ宿泊者数</p> <ul style="list-style-type: none"> 出発点 (H30) : 12,101 人 直近値 (R2) : 2,121 人 到達目標 (R3) : 14,000 人 目標 (R5) : 15,400 人 <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 延べ宿泊者数 (R3.6月末) : - (※年度末に集計)</p> <p>(2) 外国人延べ宿泊者数 (R3.6月末) : - (※年度末に集計)</p> <p>○ブランド形成による地域認知度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光PRと物販 (兵庫・7月) <p>○商品化支援による地域の魅力創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米豪向け四万十川流域アクティビティ商品の造成 ・マレーシア向けオンラインツアー (7月) ・SDGsを切り口にした周遊観光商品づくり <p>○マーケティングデータに基づくプロモーション</p> <p>【市場調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要宿泊施設利用者アンケート調査の実施・分析 (通年) ・はた旅体験利用者アンケート調査の実施・分析 (通年) <p>【プロモーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP、Facebook、インスタグラムを活用した情報発信 ・マスメディアを活用した情報発信 旅番組制作 (7月)、観光経済新聞広告 (4月・9月) ・旅行会社等を活用した情報発信 はた旅体験の広告 (6月～12月) ・観光・交通拠点を活用した情報発信 デジタルサイネージの設置 15か所 (通年) <p>○旅行会社等へのセールス</p> <p>【教育旅行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社セールス (山陽・関西 6月、関西 7月) ・受入状況等 (4月～9月) 7校受入、20校予約、36校中止、下見受入 12校 (7月末時点) <p>【団体旅行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社セールス (東京・4月) ・旅行会社招聘 (7月)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○来訪者満足度を向上させるための地域受入体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国ほんもの体験ネットワーク SDGs 研修受講 (奈良・7月) ・リバーカヌーガイドインストラクター養成講座実施 (7月～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘客促進に向けた取り組み ⇒高知県、高知県観光コンベンション協会や市町村等と連携した誘客活動の継続 ⇒ICTを活用した観光誘客を推進 (Facebook、インスタグラム、HP、グーグルマイビジネス、キャッシュレス決済、Wi-Fi 整備等) ・関係団体と連携した組織機能の強化 ⇒多様な関係者と連携し、日本版DMO 法人登録を活かした観光地づくり
<p>■No. 36 幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口の拡大と地域の活性化 (幡多地域全域)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一社)幡多広域観光協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幡多6市町村及び観光協会等 	<p>[指標]</p> <p>延べ宿泊者数</p> <p>出発点 (H30) : 11,964 人</p> <p>直近値 (R2) : 4,840 人</p> <p>到達目標 (R3) : 15,000 人</p> <p>目標 (R5) : 15,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>延べ宿泊客数 (R3.6月末) : - (※年度末に集計)</p> <p>○受入体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の受入運営ガイドラインの作成と更新 <p>○誘客の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西を中心とした西日本・関東エリアへの誘致活動 →県内高等学校、中学校への誘致活動 (6月) ※関東から九州にかけての誘致活動中止 ・ゴルフ合宿への誘致 →高校、大学の合宿 (2件) (8月) ・砂浜トレーニングのプログラム作成 <p>○サッカーの大会及び合宿の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮カツオCUPー少年ー (7月) ・BlueWave ユースカップー高等学校ー (7月) ・強化合宿ー中学校ー (8月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工芝を含む施設等のPR促進 ⇒継続的なプロモーション活動の促進

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツツーリズムに係る広域観光協議会及び各市町村の体制の充実 ⇒受入体制の充実に向けた各市町村との連携強化 ・観光コンベンション協会や各種競技団体等との連携強化 ⇒スポーツツーリズムに係る関係機関との協議の継続 ・地域の受入体制づくり ⇒集落活動センターとの連携(宿泊施設・弁当調達)
<p>■No. 38 竜串地域の観光再生構想の推進 (土佐清水市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・竜串海洋観光クラスター推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市 ・(一社)土佐清水市観光協会 ・(特非)NPO 竜串観光振興会 ・観光事業者 ・ガイド団体 <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>入込客数 ※1~12月 出発点(H30): 8.7万人 直近値(R2): 19.2万人 到達目標(R3): 12.5万人 目標(R5): 17万人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>入込客数(R3.1~5月末): 7.3万人(対前年同期比563.2%) ※R2年は、新型コロナウイルス感染拡大及び足摺海洋館の改修のため休館していた(対R元年同期比177.3%)</p> <p>○新たな観光施設を核とした、事業者間連携による誘客の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竜串の観光を考える会(7/6) ・インバウンド対応勉強会(4月~) ・足摺海洋館 SATOUMI GW イベント(4/23~5/5) ・足摺海洋館 SATOUMI 開館一周年記念イベント(7/17~18) <p>○地域でのクラスター形成を促進する事業者間連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竜串の観光を考える会(7/6)(再掲) ・観光コンシェルジュのスキルアップを図るため産業振興アドバイザー(課題解決型)を活用(6月~) <p>○竜串地域利用計画の促進・ぐるっと竜串イーストパーク再整備事業(計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海ギャラテラス建築(8月~) ・駐車場整備(9月~) ・売店解体工事(8月~) ・ぐるっと竜串ウエストパーク再整備事業 (観光振興推進総合支援事業費補助金活用を検討) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者間の連携強化 ⇒キャンプ場を活用した地元食材の消費拡大、周辺アクティビティ等への誘導を図る仕組みの検討 ⇒ビジターセンターを拠点とするジオツアー造成に向けたモ

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	ニターツアーの実施 ・体験型プログラムづくりに向けた事業者のスキルアップ及び人材育成 ⇒イベントの企画・実践ができる人材育成 (地域の頑張る人づくり事業費補助金の活用) ⇒地域住民を主体としたインストラクターの育成
<p>■No. 39 土佐清水まるごと戦略観光の展開 (土佐清水市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・土佐清水市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)土佐清水市観光協会 ・土佐清水ジオパーク推進協議会 <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>入込客数 ※1~12月</p> <p>出発点 (H30) : 65.7万人</p> <p>直近値 (R2) : 63.0万人</p> <p>到達目標 (R3) : 72万人</p> <p>目標 (R5) : 75万人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>入込客数 : - (※年度末に集計)</p> <p>○誘客の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョン万海の元気まつり (5月) ・テレビ番組でのPR (9月~) 放送予定 ・足摺きらり (開催中止決定) ・ジョン万ウォーク (2月) 開催予定 <p>○推進体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足摺宇和海国立公園足摺岬エリア利用計画の推進 <p>○日本ジオパークネットワーク加盟によるさらなる誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本ジオパーク加盟認定 (8/24 現在申請中) 1次審査 (プレゼンテーション) 通過 (5/29) 現地審査 (8/17~8/20) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のPR及び市全域へに周遊を促す仕組みの検討 ⇒足摺地区と竜串地区の連携の強化に向けた協議会の設置 ・ジオパーク認定に向けた取組の強化 ⇒今後のジオパーク構想の推進に対し、官民協働で取り組む
<p>■No. 40 四万十市の地域資源を活用した通年・滞在型観光の推進 (四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一社)四万十市観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 	<p>[指標]</p> <p>公共観光施設利用者数 ※1~12月</p> <p>出発点 (H30) : 143,785人</p> <p>直近値 (R2) : 101,172人</p> <p>目標 (R5) : 170,000人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>公共観光施設利用者数 (R3.6月末) : 52,553人 (対前年同期比 133.0%)</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で前年同期の入込客数が減少していたが回復傾向にある (対R元年同期比 78.5%)</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○インバウンド観光客の利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カヌー体験の魅力を魅力を伝える多言語パンフレットを3施設に配布(カヌー館、四万十楽舎、かわらっこ) <p>○イベント開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十川花紀行 為松公園桜ぼんぼり点灯(3/20~4/4) ・四万十川リバーサイドフルウォーク(4/3~4/4) ・小京都ゆかた Day(7/7) <p>○しまんとリバーベキュープロジェクトの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BBQ 講演会(西土佐総合支所)(7/5) ・BBQ 初級検定(8/9) <p>○施設整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いやしの里:空調設備改修(7月着工) トイレ設備改修(9月以降着工) ・学遊館:トイレ設備改修(9月以降着工) ・カヌー館:トイレ設備改修(9月以降着工) ・かわらっこ:新規体験メニュー(SUP)追加(7/17利用開始) <p>○関係団体との情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市観光振興連絡会議開催(総会:書面開催) ・予土県境地域連携協議会 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの円滑な実施 ⇒県観光補助金(地域イベント関連)の活用 ・効果的な情報発信 ⇒市公式 Instagram をメインツールとして県外客へのPR ・閑散期の誘客 ⇒西土佐地域のモニターツアー「半径3kmの旅」の開催
<p>■No. 41 大月町の地域資源を活用した観光振興(大月町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・大月町観光協会</p> <p>◎・大月町</p> <p>・町内事業者・関連団体</p> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>入込客数</p> <p>出発点(H30):5.3万人</p> <p>直近値(R2):7.9万人</p> <p>※R元年オープンの柏島情報発信センターへの入込を指標に反映したため増加(R2.7~9月:31,578人)</p> <p>到達目標(R3):6.7万人</p> <p>目標(R5):7万人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>入込客数(R3.6月):0.9万人(対前年同期比202%)</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で前年同期の入込客数が減少していたが回復傾向にある(対R元年同期比64.2%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会の法人化(4/27) ・自然を活かした観光を推進するための環境美化活動

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客の柏島への一極集中 <p>⇒データ収集・分析結果に基づいて、町内のほかの観光スポットへの誘客及び周遊促進を図る</p>
<p>■No. 43 黒潮町の地域資源を活用した観光推進 (黒潮町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・(特非)NPO 砂浜美術館 ◎・(一社)黒潮町観光ネットワーク ・黒潮町 	<p>[指標]</p> <p>(1)入込客数</p> <ul style="list-style-type: none"> 出発点 (H30) : 99.3 万人 直近値 (R2) : 79.4 万人 到達目標 (R3) : 100 万人 目標 (R5) : 100 万人 <p>(2)町内の延べ宿泊者数</p> <ul style="list-style-type: none"> 出発点 (H30) : 22,538 人 直近値 (R2) : 12,409 人 到達目標 (R3) : 24,786 人 目標 (R5) : 25,369 人 <p>[取り組み状況]</p> <p>(1)入込客数 (R3.6月末) : 20.5 万人 (対前年同期比 173.6%)</p> <p>(2)町内の延べ宿泊者数 (R3.6月末) : 1,896 人 (対前年同期比 252.5%)</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で、前年同期には大幅な減少があったが回復傾向にある (対 R 元年同期比 39.5%)</p> <p>○地域の特性、資源を活用した体験型プログラムの造成・磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド誘致に向けての「防災研修プログラムのご案内」パンフレット英語版を印刷製本 (7月) ・黒潮一番館「レンコ鯛のしおき作り体験」プログラム作成 ・黒潮町観光キャンペーン「泊まってお得!!くろしお体験クーポンプレゼントキャンペーン」(7/25~10/31) <p>○誘客促進の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高知大丸 Discovery 高知 黒潮町特集」に出店 (4/21~4/27) ・愛媛県八幡浜市「道の駅みなと」(愛媛県八幡浜市)の屋外スクリーンでプロモーション動画放映(6月末) ・SDGs の取組を示すポップ作成、町内約 20 事業者へ配布 ※花火大会「シーサイドギャラリー2021・夏」中止 ・砂浜トレーニングのプログラム作成 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の商品化 <p>⇒滞在時間延長や複数の観光資源をリンクさせた観光商品造成、防災学習プログラムを主軸とした MICE の受入推進</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・プロモーションの強化 ⇒黒潮町の認知度をあげるための情報発信 ・観光地域づくりの推進 ⇒データ収集・分析に基づく観光戦略の実施
<p>No. 44 集落活動センターやまびこによる三原村の産業振興（三原村）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一社)三原村集落活動センターやまびこ ・(農)三原やまびこ</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点 (H30) : 1,207 万円</p> <p>直近値 (R2) : 1,634 万円</p> <p>到達目標 (R3) : 1,600 万円</p> <p>目標 (R5) : 1,700 万円</p> <p>[取組状況]</p> <p>(1) 売上高 (R3.6月末) : 317 万円 (前年同期比 : 127.1%) ※通販サイト「ししとう家族商店」の開設 (R2.9月)</p> <p>○新商品開発及び販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントへの参加 れんけいこうち TSUNAGU マーケット(6/19, 20) ・商談会への参加 マックスバリュ西日本株式会社/株式会社エースワン商談会(5/25) ・ふるさと納税プロジェクトチームの立ち上げ(6/29) ・ふるさと納税に関する取組事例視察(四万十市観光協会)(7/5) <p>○広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS(Facebook、Twitter、Instagram)の運用(通年) <p>○一次産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド米へ黒潮町産天日塩(土佐のあまみ屋)のにがりを活用 ・小型精米機の導入(7月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通販サイトの運用強化 ⇒酒類通信販売業免許の取得及び通販サイトの運用強化に向けた専門家招聘 ・ブランド米の販路拡大及びコンテスト入賞 ⇒商談能力の向上に向けた専門家、お米マイスターの招聘 ⇒リモート環境整備によるオンライン商談会等への参加

2 令和3年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取り組み	事業概要	総事業費(補助金額)
■No18 新たな製造方式の導入による宗田節等の生産・販売の強化（土佐清水市） 8/2 採択	焼津式乾燥機等の整備	36,061（16,391）

3 県民参画に向けた取り組み

- ・土佐 MBA や土佐の観光創生塾、観光地域づくり塾などの受講周知

4 相談案件：2件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	5/20	水産加工	水産加工事業者から、地域アクションプランへの追加及び水産業振興（産振）等の補助金活用に関する相談を受けた。
2	5/28	飲食業	飲食業者から、地域アクションプランへの追加及び産振補助金活用等に関する相談を受けた。

地域産業クラスタープロジェクトの推進

地域に根差した産業を核として、その周りに様々な産業を集積させる「地域産業クラスター」の形成に取り組むことにより、第一次産業から第三次産業までの多様な仕事を創出し、若者が地域地域で働き続けられる土壌づくりを目指していきます。クラスター形成を目指す「クラスタープロジェクト」として、19のプロジェクトを位置づけており、その一つひとつに、県、市町村、関係団体等で構成する「プロジェクトチーム」を設置し、プランの策定からその実行までをサポートしていきます。

地域	分野	プロジェクトNo.・名称	取り組み概要（目指す姿）	取り組み状況	
農業		No.17 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト	宿毛市の主要農産物である文旦等の柑橘類とイチゴの生産拡大を核に、食品加工、観光などと連携して産業クラスター化を図り、地域の活性化を目指す。	これまでの取り組み（R元～R2）	H31.4月、本プロジェクトの核となる「スタートアグリカルチャーすくも（公社）」が設立され、県補助を活用して2名雇用し、アドバイザーを招聘、研修生3名の体制で営農を開始開始（イチゴ19.2a）。R3.3月研修生1名が就農し、残る2名も6月に就農した。 R1.7月には、ふるさと納税返礼品として、「冷凍イチゴ」「イチゴジャム」が採用されれるとともに、イチゴを使った商品開発について農家や飲食店と協議を行ってきた。 また、市内の洋菓子店、カフェ等7事業者が参加して、文旦を使用した独自メニューを提供する「すくも文旦フェア2020」を開催するなど、文旦のブランド化、商品開発等の取り組みを実施した。
	関連する地域AP	No.6 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト		R3年度の取り組み	【取り組み状況】 いちご農家育成に向け、現在、2名の研修生を受け入れている。 市内のイチゴ農園が、イチゴ狩りを開催していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、本年度は中止した。 また、フィンガーライムの産地化に向け、昨年度から継続して、試験栽培に取り組んでいる。 「新・農業人フェア 農業EXPO」にオンライン参加（R3.6月） 【課題と今後の対応】 地域におけるイチゴ・柑橘のブランド化の推進及び加工品の開発・販売の強化に取り組むこととし、「スタートアグリカルチャーすくも（公社）」の研修生の確保や新規就農者のための農地確保、文旦の作付面積拡大にむけた検討を行う。
幅多		No.18 宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト	県内屈指の生産量を誇る宿毛湾の養殖業を核に、生産者をはじめ養殖業に直接関わる餌や種苗の販売事業者に加え、流通・加工・販売関連の事業者、さらに飲食や観光など地域の賑わいを支えている事業者などが有機的に連携し、新たな雇用の創出や交流人口の拡大につなげ、地域全体の拡大再生産を目指す。	これまでの取り組み（H28～R2）	クマガロ人工種苗の生産技術を確立するとともに、（株）高知道水の大型水産加工施設が完成し、24名を雇用した（R3.7月現在）。同社は、日本食品認定機構の米国HACCP認定取得（R2.12月）。また、高知の魚応援の店と連携し、首都圏や関西圏の飲食店や量販店等での「大月産本マグロ」PRを実施した。また、商業ツアーが6回実施された（H30～R元）。 R2.9月～R3.2月にかけて、マグロの食を絡めたスタンブラーを実施し、地元飲食店の掘り起こしを図った。
	関連する地域AP	No.7 すくも湾漁協による水産物の加工・販売 No.8 宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売ほか		R3年度の取り組み	【取り組み状況】 コロナウイルスの影響により、（株）高知道水の輸出が停滞している。 （有）マリンライナーが「事業再構築補助金」を活用し、養殖マダイ輸出に対応するため、大型冷凍機の増設工事を行い新規事業に取り組む（R3.6月採択）。 【課題と今後の対応】 高知道水の国内外への販路開拓支援及びマグロの産地としての認知度向上
水産業		No.19 土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト	地域の基幹産業であるメジカ加工業を核に、漁業者から飲食・観光を含めた産業クラスターの川上から川下に至る各業種が有機的に連携し、新たな雇用の創出や交流人口の拡大につなげ、地域全体の拡大再生産を目指す。	これまでの取り組み（H28～R2）	民間育成団体が、新規就業者の確保に向けた長期研修を実施し、2名がメジカ漁業に就業した。 また、冷凍保管施設（H31.4月）及び残渣加工施設（R3.1月）の整備が完了、稼働を開始し、原魚在庫の安定化等に取り組んでいる。 宗田節の認知度向上を図るプロモーションの一環として、ロゴマークを作成し、PR資材や宗田節商品に掲載するとともに、誘客を促進するため、宗田節ロードスタンブラーを実施した。
	関連する地域AP	No.14 土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進 No.15 宗田節だし加工商品の販路拡大の促進ほか		R3年度の取り組み	【取り組み状況】 地域の事業者の高齢化、人手不足に対応するため、共同加工施設の整備に取り組んでおり、R3.10月に完成予定。 新商品「スープロス（簡単和風だしスープ）」製造ラインの整備が完成し（R3.8月）、今後、本格的な全国販売にむけて取り組んでいく。 たけまさ商店の節納屋体験観光の拠点施設が完成（R3.3月）。体験と併せて他社の宗田節商品も販売するなど、宗田節の知名度向上を図っている。 【課題と今後の対応】 共同加工施設の効率的な運営と、「スープロス」の販売に合わせた宗田節のプロモーションの強化。